

## 競 技 注 意 事 項

本競技会は 2020 年日本陸上競技連盟競技規則と本大会申し合わせ事項により行う。なお、本大会においては、WA 規則第 143 条（TR5：シューズ）は適用しない。

### 1. 競技場への入場について

- (1) 入場は、1 F 正面玄関のみとする。
- (2) 退場は、マラソングートと南西ゲートを使用すること。再入場はマラソングートからのみとし、入場は当日配布する**入場許可証**を提示すること。
- (3) 無観客競技会として開催するので、正面 2 F メインスタンド入口は開放しない。

### 2. 練習について

- (1) 練習は、バックスタンド後方（東側）の練習走路を使用すること。走る方向は、北から南の一方通行とし、逆走は禁止する。個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブなどを使ったスピード練習は禁止する。
- (2) バックスタンド後方（東側）の練習走路でのハードル練習は禁止し、競技開始前のハードル設置後に行うこと。
- (3) 競技開始前のトラック練習は、競技開始の 30 分前までとする。  
[ホームストレート・バックストレート]  
○1・2 レーン=長距離周回練習   ○ジョグ=レーン外  
○3~5 レーン=コーナーからのスプリント練習   ○6~9 レーン=直線からのスプリント練習  
**※順番待ち等は、密を避けるように距離を保って行うこと。**
- (4) 競技場内、公園内でのリレー練習は一切認めない。
- (5) 競技場内・公園内ともメディシンボールなど、物を投げる練習は禁止する。
- (6) 走高跳、走幅跳、三段跳は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。
- (7) 競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。

### 3. 招集について

- (1) 開門時刻から競技開始 1 時間前（棒高跳のみ 1 時間 30 分前）までに「体調管理チェックシート」を屋内練習場内に設ける競技者受付に提出し、アスリートビブスと**競技で使用するシューズ**（スパイクの他、ランニングシューズを含む）の確認を受けることで、一次招集完了とする。
- (2) 二次招集は現地招集とし、現地招集時間はトラック競技 15 分前開始 10 分前完了、フィールド競技 50 分前開始 40 分前完了とする。（棒高跳のみ 70 分前開始 60 分前完了とする。）
- (3) 一次招集に遅れた競技者は、欠場するものとして処理する。
- (4) やむを得ず欠場する場合は、できるだけ速やかに TIC へ欠場届を提出すること。
- (5) 点呼の代理は認めない。但し、同日に複数種目の出場がある場合は「体調管理チェックシート」にすべての種目を記入し、最初の種目の一次招集を完了することで、その後の種目の一次招集も兼ねることとする。ただし、同時間帯に競技が行われる可能性がある場合は、「多種目同時出場届」を屋内練習場内に設ける競技者係まで提出すること。

#### 4. リレーのオーダー用紙提出時刻について

競技開始時刻の90分前までにTICへ提出すること。

競技開始60分前にはスタートリストを大阪高体連WEBページに掲出するので、オーダーの確認を必ず行うこと。

4×100mのマーカ―は、競技終了後、必ず自チームの前走者が取り除くこと。

#### 5. 番組編成および競技の抽選について

- (1) トラック競技のレーンおよびフィールド競技の試技順は、大阪高体連WEBページのスタートリスト通りとする。
- (2) トラック競技およびフィールド競技の決勝については、規則に則り組合せ、レーン順・試技順を決定し、WEB上または電光掲示板で発表する。
- (3) トラック競技における次のラウンドへの進出について(+ $\alpha$ )を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100秒単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。
  - ①レーンに余裕がある場合・・・同タイム(1/1000秒単位)の競技者の進出を認める。
  - ②レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。
  - ③同着によって着取りによる進出者が増えた場合は、(+ $\alpha$ )の進出者数を減らす。
  - ④800mとオープンレーンを使用する種目は、同タイム(1/1000秒単位)の競技者は全員を次のラウンドへ進める。

#### 6. 競技について

- (1) 当該種目出場者以外は、競技エリア内に立ち入ることはできない。
- (2) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。  
男子5000mWと女子5000mWは別ナンバーカードを使用する。
- (3) トラック競技では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、4×400mの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつける。
- (4) スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。  
ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近く(少なくとも長さの半分)で、4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (5) 短距離競走は、フィニッシュラインを過ぎてもレーンに沿って走ること。
- (6) 競技エリア内に通信機器(携帯電話等)やビデオ撮影機器(タブレット等)を持ち込んではいならない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。  
フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像を、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げる等により競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (7) 集団での声援(応援)及び不正な助言行動は自粛すること。
- (8) フィールド競技の試技時間は次のとおりである。

##### 単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する

高さの種目 バーの上げ方について

走高跳	男子	1年	1m70・1m85(練)	1m75	1m80	1m83	以後 3cm ずつ上げる
		2年	1m75・1m90(練)	1m80	1m83	1m86	以後 3cm ずつ上げる
	女子	1年	1m44・1m56(練)	1m47	1m50	1m53	以後 3cm ずつ上げる
		2年	1m47・1m59(練)	1m50	1m53	1m56	以後 3cm ずつ上げる
棒高跳	男子	1年	3m20・4m00(練)	3m40	3m60	3m80	3m90 以後 10cm ずつ上げる
		2年	3m40・4m40(練)	3m60	3m80	4m00	4m10 以後 10cm ずつ上げる
	女子	1年	2m20・2m80(練)	2m30	2m40	2m50	2m60 以降 10cm ずつ上げる
		2年	2m30・3m30(練)	2m40	2m50	2m60	2m70 以降 10cm ずつ上げる

決勝で最後の一人となり、優勝者が決まるまでは、上記のバーの上げ方とする。

同記録による1位を決定するバーの上げ下げは走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

(9) 跳躍種目 競技場所および踏切板位置について

走高跳は、第一曲走路内側 (A ゾーン) で行う。棒高跳は、第二曲走路外側の北ピットで行う。

走幅跳および三段跳は、正面スタンド前ピットで行う。

踏切位置 (砂場から) 男子三段跳 1年…12m 2年…12m

女子三段跳 1年…10m 2年…10m

(10) 投てき競技は第二曲走路内側 (B ゾーン) で行う。

(11) 助言エリアはスタンドの最前部から後方 2m とする。競技エリアには立ち入らないこと。

(12) 投てき競技と棒高跳の滑り止めは、主催者で準備しないので個人で持参すること。

(13) 男女 5000m 競歩は競技運営上の理由により、下記のタイムを超えて周回を残している場合フィニッシュ地点で競技を中止させる。

・男子 5000m 競歩・・・30分      ・女子 5000m 競歩・・・35分

7. 競技用具について

やり及びポール以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。

やりの検査受付は、競技開始時刻の2時間前より90分前まで、TICで行う。

8. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟競技規則により、各府県監督 (当該校顧問同伴) から、所定の手続きをとるものとする。

9. 表彰について

(1) 男女別・学年別の学校対校とする。種目得点は1位8点～8位1点とする。リレーの得点は総合の部のみに加算する。

(2) 男女とも総合成績・学年別成績第3位まで表彰する。

(3) 個人種目は第3位まで、リレー種目は第6位まで表彰する。

(4) 男女別・学年別に優秀競技者賞を表彰する。

(5) 男女別総合優勝校の監督を表彰する。

(6) 賞状は、正面玄関中央エントランス表彰係まで取りに来ること。

10. 式典について

開始式は、アナウンスと電光掲示 (大型映像) により簡素化して行う。表彰式は行わない。

また、各種目の表彰式も行わない。

## 1 1. 競技場の使用について

- (1) 無観客での競技会とします。保護者の入場はできません。また、各校で委託した写真業者等も入場できません。可能な限り身体的距離をとること。また、声を出しての応援は禁止します。
- (2) 競技者・付添等の関係者は指定された出入口から入退場すること。
- (3) テントの設置について
  - ① 競技場メインスタンド中央通路より上段、芝生スタンド後ろ半分・バックスタンド前3列分あけてテントは設置してください。なお、テントを設置する際に、ロープ等が通路にかからないようにすること。
  - ② 競技場内の場所取りに使用したテントやシートは置いて帰ってもかまわないが、競技終了後は一つにまとめておくこととする。
  - ③ 競技場外に割り当てられた学校については、使用したテントやシートは毎日持ち帰ること。
- (4) 横断幕、のぼり・部旗等について
  - ① 横断幕・のぼり・部旗等は全て、場所取りで割り当てられた場所の後方のみ可能とする。
  - ② メインスタンド、サイドスタンド、バックスタンドの前方手すりおよび中段手すりは使用してはならない。
  - ③ ビデオ監察の妨げとなるような設置は不可とする。
- (5) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること。
- (6) トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。
- (7) 更衣室は10名以内で更衣のみの利用とし、マスクを着用のうえ会話しないこと。使用時間は1人5分以内とする。また、清潔に使用し、私物を置かないこと。

## 1 2. その他

- (1) プログラムは、配布しないので各校で印刷準備すること。
- (2) 競技中に起こった怪我は、本部の医務室で応急処置のみを行う。
- (3) 記録は、電光掲示板およびWEBページで確認すること。(記録ボードは設置しない)
- (4) 全ての競技者は、競技終了後に手洗い・消毒を行ってから退場すること。
- (5) 盗難の発生や忘れ物に注意し、荷物等の管理は各校で十分注意すること。
- (6) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、競技役員の指示する通路に従って移動すること。また、通行禁止や使用禁止の掲示のある場合は、厳守すること。
- (7) 競技エリアに、商品名・商社名のついた衣類・バック類を持ち込む場合は、日本陸上競技連盟競技規則に従うこと。また、競技エリアに携帯電話・スマートフォン等の通信機器の持ち込みは禁止。
- (8) プログラム記載の個人情報(氏名、学校名など)および大会結果は、新聞および大阪陸上競技協会・大阪高体連陸上競技専門部WEBサイトに記載されるが、本大会関係以外には一切使用しません。